

注意

前年度の入試情報となります。
新しい情報は随時公開いたします。



**RYUKOKU
UNIVERSITY**

入試部 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 0570-017887 (ナビダイヤル) FAX: 075-645-4155
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/>

You, Unlimited

龍谷大学大学院

社会学研究科

Graduate School of

Sociology

2025



RYUKOKU
UNIVERSITY

社会学研究科

Graduate school of Sociology

※社会学研究科は、2025年4月に深草キャンパスへ移転します。

人間、地域を共生と協働で切り拓く研究

社会学研究科は、社会学専攻社会学コース・同専攻ジャーナリズムコースおよび社会福祉学専攻から構成され、各専門の総合的教育を通して、社会の要請に応えられる見識ある研究者・教育者・高度専門職業人の養成を目指しています。

開かれた教育研究機関として、留学生や社会人を含め多様な学生が、それぞれに適した形態の入試によって入学し、共に研究に励んでいます。学生の自由な発想と研究関心を生かし、実績ある教授陣が懇切丁寧な研究指導を行います。また、修士論文および博士論文の執筆過程における発表を通して、研究成果形成をサポートします。

学生一人一人が社会の現状に向き合うことを重視し、社会調査教育や社会福祉実践教育を推進しています。



POINT

高度専門職業人の養成

時代と環境の変化に伴って生じる新たな社会問題と向き合い、自ら公共的課題解決に挑んでいく人材の養成を目指しています。

社会人が学びやすいカリキュラムと多様な履修コース

5・6講時(17時以降)を中心に構成した昼夜開講制や土曜日開講など、社会人の方にも学びやすいカリキュラムを整え、セメスター制を導入しています。

国際化の推進と留学生へのサポート強化

多くの留学生が在籍しており、国際化に向けた歩みを着実に進めています。

教育理念・目的

多様な価値が錯綜する現代社会において、社会学と社会福祉学の分野が果たす役割は大きいと考えます。社会学研究科は建学の精神に基づき、専門性と実践性をバランス良く兼ね備えた高度専門職業人・研究者・教育者を養成します。

専攻	修士課程	博士後期課程
社会学専攻	複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人及び研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成する。	高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成する。
社会福祉学専攻	現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人及び研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成する。	社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成する。

研究科長のメッセージ

「建学の精神」として「浄土真宗の精神」を掲げている龍谷大学は、「真実を求め、真実に生き、真実を頭かにする」ことのできる人間を育成します。

社会学研究科では、社会学・社会福祉学の知見を活用して、人間模様が織りなす複雑な社会に目を向けます。社会の「現場」を重視し、実践や調査によって社会問題の現実を把握するとともに、これまでの研究で蓄積されている先行研究との比較検討によって、社会問題の因果関係などを追求め、常に「真実」に迫ろうとしています。

現代社会は地球規模の人口問題や貧困、あるいは紛争などの社会問題が山積みしています。社会問題を研究し解決することは容易なことではなく、その因果関係を明らかにすることも、時には紛争などで事象自体の把握さえも困難なことがあります。この道のりは決して平坦なものではありません。しかし、だからこそ時間をかけて綿密に「現場」を観察し、深く検討するのです。その結果、埋もれた「真実」に近づけた時の喜びは何ものにも替えがたいものです。同時に、それは社会問題の解決という社会貢献にもつながっています。

院生たちは地道に一人で研究を行いながらも、国内外から集まった仲間と学び合い、多彩な教員たちとの討議も経て研究成果をまとめ、国内外の学術会議や学術雑誌で発表しています。その後、修士課程修了者は高度専門職業人として活躍したり、進学したりしています。また研究者や教育者として羽ばたいた博士後期課程修了者もいます。

2025年4月から社会学研究科は京都の深草キャンパスに移転します。京都で新しい人々と出会い、共に学び、埋もれた「真実」を希求し、「真実」に近づき、「真実」を探索し続けるような研究生生活を送っていただきたいと思います。

ぜひ本冊子を熟読され本研究科への進学をご検討ください。歴史ある地で研究を始めていただければ幸いです。



社会学研究科長
栗田 修司 教授

実践的で多様なカリキュラム

社会学専攻

●社会学コース ●ジャーナリズムコース

研究を行うには、社会学理論についての理解、外国語文献を読んで理解する語学力、研究・調査法についての知識とスキル、自分の専攻したい分野についての最先端の研究の把握、論文作成の知識とスキルが必要です。修士課程では、これらの基礎的な知識、能力、スキルを身につけることにより、社会学の研究を独力でやり遂げる力を身につけます。

※ 大学院設置基準第14条特例に基づく昼夜間開講講義を実施し、社会人入試による学生の受け入れも行っています。

修了要件	1年次	2年次	修士論文
	演習〈必修〉	8単位	
	外国語〈必修〉	4単位	
	基礎科目〈選択必修〉	2単位	
	選択科目〈選択〉	16単位	

修士課程

社会福祉学専攻

複雑化している社会福祉分野に柔軟に対応できる人材を育成し、より専門的で高度な教育・研究を目指しています。社会福祉に対する関心や知識を一層深めることができるとともに、福祉現場などで活躍している人の再教育・スキルアップにも役立ちます。また、将来社会福祉の研究者・教育者を目指す人たちの研究の基礎づくりの支援を行っています。

博士後期課程

社会学専攻

博士後期課程では、修士課程で修得した独力で研究をやり遂げる力を研究成果に結びつけていきます。自ら研究課題を設定して、研究・調査に取り組み、成果を学会発表や学術論文として発表することを繰り返して、社会学の研究者として活躍できる力量を身につけていきます。

社会福祉学専攻

博士後期課程では、修士課程での研究や成果を土台に、さらに専門的な研究を展開できるよう、博士号取得に向けての指導と支援を行い、社会福祉学の研究者の養成を目指しています。

社会学研究科 4つのトピックス

Topics

1

留学生も活躍

社会学研究科では、多くの留学生が学んでいます。現在、27名(2024年4月現在)の留学生が学位取得を目指して日々努力しており、留学生ならではの研究テーマに取り組んでいます。中国都市部における「専業母」の育児不安に関する研究、ロシア・ウクライナ戦争をめぐるジャーナリズムの役割に関する研究、高齢者介護予防施策の実践を目指したストックウォーキングを用いた運動効果と主観的健康度の関連の測定の研究、東アジア三国の世論形成のメカニズムに関する研究、タイ仏教における共生の視点から見る社会福祉研究などがあり、その独特の研究テーマ、研究成果は所属学会からも高く評価され、全国大会での発表者に選ばれています。

Topics

3

2025年4月、深草キャンパス(京都市)への移転。

都市型キャンパスへの移転で、研究の環境を向上させます。社会学研究科の新しい拠点となる深草キャンパスでは、大規模な施設整備を行っています。コンセプトは、「深草を森にする」。キャンパスの各所に豊かな緑地を配置し、学生や教職員はもちろん地域の方々が行き交い、多様な交流が生まれる環境をつくります。都市型キャンパスに移転することで、社会学研究科ならではの研究環境の多彩化をはかるとともに、そのアクセスの良さから研究がより活発になることが期待されます。

Topics

2

充実の奨学金制度

研究に専念できるよう下記の奨学金を用意。

- ①学内進学奨励給付奨学金
年額150,000円 3名受給(2023年度実績)
- ②成績優秀者給付奨学金
年額144,000円 5名受給(2023年度実績)
- ③研究活動支援給付奨学金
年額195,000円 8名受給(2023年度実績)

多くの方が奨学金を受けて研究を進めています。

Topics

4

国内外の大学、市町村、団体との包括協定の推進

2024年度も引き続き留学生の継続的な受け入れを推進しています。なお、東南アジア地域、さらには南アジア地域からの留学生受け入れを推進します。

また、国内においては社会人入学生確保、研究・実習等のフィールド確保、キャリアパス確保等の目的で市町村、法人団体との包括協定締結を推進しており、包括協定先の社会人に対して、修士課程推薦入試制度を導入し、これに合わせて修士課程1年制を実施しています。

社会学専攻



「現場主義」にもとづき調査を主体に多角的な理論的検討をおこなうカリキュラムが特徴です。
社会学の研究を深めたい人だけでなく、専門社会調査士や職業ジャーナリストを目指す人にぴったりです。

専任教員紹介

2024年度 専任教員の 専門分野・主な研究テーマ

「M」は修士課程科目担当者、「D」は博士後期課程科目の担当者です

ともに学びましょう。

工藤 保則
【博士(社会学)】

M D

文化社会学／
子ども社会学



報道現場の課題を
いっしょに考えよう！

畑仲 哲雄
【博士(社会情報学)】

M D

マスメディア／
ジャーナリズム



他にはない社会学の
醍醐味を堪能しよう！

津島 昌弘
【M.A.】

M D

犯罪社会学／社会統計学



健康と病気、医療と公衆
衛生が専攻領域です。

黒田 浩一郎
【修士(文学)】

M D

病と医療の社会学／食と
食事の社会学／社会理論



研究分野は精神分析、
社会学、環境思想です。

村澤 真保呂
【修士(人間・環境学)】

M D

社会思想史／精神分析



中世のフランス文学を
専門にしています。

嶋崎 陽一
【修士(文学)】

M D

フランス中世文学／
アーサー王文学



龍谷大学は戦前アジアのメ
ディア史関連の史料を多く所蔵
しています。是非、ご利用ください。

李 相哲
【博士(新聞学)】

M D

ジャーナリズム史／
東アジアの新聞研究



都市で発達した伝統的な
祭りを研究しています。

吉田 竜司
【修士(文学)】

M

集合行動論



ドイツ語圏の音楽文化に
ついて研究しています。

高岡 智子
【博士(学術)】

M D

音楽学／ドイツ文化史



地域の環境問題を、
一緒に研究しましょう。

脇田 健一
【修士(社会学)】

M D

環境社会学／地域社会学



研究テーマ：中国はいかに
豊かになったのか？

李 复屏
【博士(経済学)】

M

地域発展学



移住や宗教をテーマに
調査を行っています。

椿原 敦子
【博士(人間科学)】

M D

文化人類学



現在のテーマは農業と
ジェンダー、家事労働

渡辺 めぐみ
【博士(社会科学)】

M

ジェンダー・スタディーズ／
家族社会学



環境問題、地域活性化
の研究をしています。

閻 美芳
【博士(人間科学)】

M

有機農業／獣害問題／
農村都市化



他学部教員・特別任用教員・外部講師

鵜塚 健 政治報道研究／調査報道・記事制作実習

島村 健司 アカデミック・ライティング

中野 有 国際問題報道研究

藤田 悟 政治コミュニケーション研究／アジア報道研究

在学生からのメッセージ



着実なステップを踏みながら努力を続けよう

胡 明超(コ・メイチョウ)さん

修士課程2年次生 社会学専攻・社会学コース

大学では、社会学を専攻していました。当時は、社会学を学ぶことで、社会への理解を深めることができ、自分の考え方や視野などを一層に広げるのではないかと考え、社会学を選びました。社会学の研究において、これまで思っていた常識を覆し、新たな知見を得ることが多々あります。それは、私にとって一番の楽しみです。社会学というのは、あたり前を疑う学問だと思っています。

大学院では、社会学分野の一つである家族社会学に焦点を当て、研究を行っています。私たちは、一つの家族の中で生まれてきて、そして成長するにつれ、新たな家族を構築していきます。家族に着目することで、社会の動向がよく把握できるのではないと考え、家族社会学に着眼しました。現在、研究しているテーマは、中国都市部における「専業主婦」の育児不安に関する考察です。大学の卒業論文を仕上げる際に、近年子どもの早期教育のために自ら仕事を辞める母親が増えていることを知り得ました。家庭に拘束され、社会とのつながりを失いやすいと考えられ、育児に関してどのような育児不安を抱いているのか、またはその要因がどこにあるのかに関心を持ち、それを明らかにするため、力を入れて研究を行っています。

修了生からのメッセージ



社会学研究へのアプローチは探求心

唐 暢(トウ・チョウ)さん

修士課程 社会学専攻・ジャーナリズムコース

大学時代から、ジェンダー問題とフェミニズムに関心を持っていました。日本語を専攻し、卒業後、日本語を異文化間コミュニケーションのツールとして活用したいという思いから、日本への留学を決意しました。日本語を通じて社会学や日本のジャーナリズムなど、異なる領域に触れる機会がありました。

留学中に、中国のSNSでネット炎上の問題に気づきました。炎上に巻き込まれた被害者は、不安やうつ病を患い、中には自殺に至る事例も多く報道されています。特に女性被害者を対象とする炎上事件が多く発生し、その背後にはネットミソジニーの標的にされやすい傾向があると考えられます。そこで、「中国のSNSにおける炎上のメカニズムに関する事例研究—女性被害者事件を中心に」をテーマとして、メディアとジェンダーの課題を結びつけて、ネットニュースの役割や炎上参加者の動機に注目し、現代の情報社会における炎上の拡散メカニズムに焦点を当てています。なぜ女性が炎上されやすいのかという問題意識を持って研究が進められました。

社会学は単一の領域の問題を研究できるだけではなく、複数の領域が交差して研究できると考えられます。この世のなかには、きっと自分が関心を持っていることがあります。少し変だと思っても、問題の関心点になれるので、心の中の好奇心をつかんで、この世界を探索してみてください。

修士論文題目例

■ 中国残留孤児問題を日本の主流紙はどう報じたか
—『朝日新聞』を中心に—

■ 日本の性の商品化に関する研究

主な学会発表・研究発表

日本文化人類学会 第57回研究大会

〈発表日〉2023年6月3日

江戸時代前期の遊郭における性のあり方に関する考察
『色道大鏡』を手がかりとして

社会福祉学専攻



社会福祉の高度専門職業人及び、研究者・教育者の育成を目的とし、人間力豊かな人材を養成します。

専任教員紹介

2024年度 専任教員の
専門分野・主な研究テーマ

「M」は修士課程科目担当者、「D」は博士後期課程科目の担当者です

言語形式の意味と
機能について考察する。

五十嵐 海理 **M D**
【MLitt in Linguistics】
英語学



児童福祉のケアの専門
性を研究しています。

土田 美世子 **M D**
【博士(人間福祉)】
児童福祉論／
保育ソーシャルワーク



地域福祉のあり方を
研究しましょう。

筒井 のり子 **M**
【修士(社会学)】
地域福祉論／市民活動論



精神的な悩みを抱える
方の支援を研究中

栗田 修司 **M D**
【修士(文学)】
ソーシャルワーク／
メンタルヘルス



高齢者福祉の研究を
しています。

春名 苗 **M D**
【博士(社会福祉学)】
高齢者福祉論



主な研究テーマは知的障害
のある人のQuality of lifeです。

立田 瑞穂 **M**
【博士(教育学)】
障害福祉／
特別支援教育



人権保障確立の観点から
社会保障を研究しています。

田中 明彦 **M D**
【修士(法学)】
社会保障法／社会保障論



障害者福祉の研究を
しています。

樽井 康彦 **M**
【博士(学術)】
障害者福祉論



国際的視野を
持ちましょう！

前川 貴史 **M**
【PhD in Linguistics】
理論言語学／英語学



他学部教員・特別任用教員・外部講師

長崎 陽子 仏教社会福祉論研究
中根 真 社会福祉原論研究

在学生からのメッセージ



医療ソーシャルワーカーとしての研究

谷 由紀子さん

博士後期課程 1 年次生 社会福祉学専攻

龍谷大学社会学部を卒業し、現在病院のソーシャルワーカーとして勤務しております。社会人として龍谷大学大学院修士課程を修了し、この度博士後期課程へ入学しました。大学院への入学を決めたきっかけは、後進の育成に携わることが多くなり、教育をする中で、自身が行っているソーシャルワークを、根拠をもって言語化し伝えることができないことに葛藤を感じたことです。ソーシャルワーカーがソーシャルワーカーを適切に教育できる体制を作りたい、評価指標を策定したいと思うようになりました。また、現場の中で何となく習得された能力は「見える化」することができていない状況があり、多職種に専門性を明確化できていません。現場で出てきた課題を解決したいという思いが、私の研究を進める原動力になっています。

大学院修士課程で「医療ソーシャルワーカー(MSW)に求められる能力に関する研究～支援の質の向上に向けて～」というテーマで研究を行いました。能力名自体の抽出と比較はできましたが、さらに細分化し分析を行う必要があり、研究目的である評価指標の策定までには至っておりません。博士後期課程で評価指標の策定に向けて研究を継続していきたいと考えています。

社会人だからこそ感じる課題を研究できること、また学びを通じてソーシャルワーカーであることに、誇りと喜びを感じております。

修了生からのメッセージ



知的障害児の自己決定支援についての充実した研究

ソン・ニガさん

修士課程 社会福祉学専攻

私は在学中、主に障害者福祉と特に知的障害児の自己決定支援について研究していました。個人の見解や好みを表現し、自分の人生において選択や決定を行うことは、成長するすべての人にとって必要な能力です。自己決定と呼ばれる能力は発達期から培われ、人々の人生の各段階で重要な役割を果たしています。受験生の皆さんも、様々な選択肢に対して悩んだり迷ったりすることがあるかと思います。その時には、情報収集や周りの人の意見を参考にすることも良い方法ですが、自分自身に合うかどうかを深く考えることも重要です。

私が所属していた龍谷大学社会学研究科社会福祉学専攻は、カリキュラムが非常に豊富であり、常に新鮮さを感じることができました。この新鮮さは研究のエネルギーとなり、広範囲な視点からいくつかのポイントに絞り込むことができ、研究内容を明確にすることができました。また、新たな福祉思想を学びながら、自分の心も穏やかになりました。人にやさしくしたいのなら、まずは自分にやさしくすることの重要性を理解しました。修士課程の2年間は、研究としては時間が短くてバタバタの時期もありますが、自己整理としては十分な時間だと感じます。龍谷大学では、忙しい学業の中でも自分自身と対話する環境が整っているので、ぜひ入学して体験してみてください。

修士論文題目例

- ヤングケアラーの支援プログラム開発に関する考察
ーこどもソーシャルワークセンターにおける滋賀県ヤングケアラーモデル支援事業を通してー
- 中国知的障害児福祉施設における自己決定支援の現状と可能性 一支援者とのかかわりを中心にー

主な学会発表・研究発表

日本教育情報学会 第39回年会

〈発表日〉2023年8月26日

管理栄養士養成課程における社会福祉科目の効果的な指導法の検討

日本仏教社会福祉学会 第57回学術大会

〈発表日〉2023年11月5日

タイの森林僧院の瞑想実践活動と社会参画の関連性

日本社会福祉学会 第71回秋季大会

〈発表日〉2023年10月15日

住み慣れた地域での高齢者介護保障実現に関する研究
ー障害者総合支援制度を手がかりにしてー

第36回日本保健福祉学会学術集会

〈発表日〉2023年9月30日

惨事ストレスによる救急隊員の属性別ストレス反応の特徴
ー急性ストレス反応出現率による分析からー

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学大学院 社会学研究科

新たな知と価値を創造するために、
「心・知・行動」の拠点として、地域や世界の課題に對峙し、
問い続ける。それが、龍谷大学の研究のあり方です。

これまでの社会のありようや私たちの行動を省み、
先端的な研究や学際的連携による知の集約のもと、
世界の人々と協力して困難な課題に立ち向かう。
その姿勢と行動が、未来の可能性を切り拓いていきます。

深草キャンパス 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 077-543-7760 shakai@ad.ryukoku.ac.jp
※2025年4月、滋賀県の瀬田キャンパスから京都府の深草キャンパスへ移転します。



社会学研究科の HP はコチラから

<https://www.soc.ryukoku.ac.jp/daigakuin>

■ 入試について

「2025 年度 入学試験要項」をご確認ください。
また、入試結果については入試情報サイトに掲載しております。
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

■ 学費・諸会費について

2025 年度学費・諸会費については、「2025 年度入学試験要項」をご参照ください。
社会学研究科では年に数回、入試説明会を開催しております。
詳しい日程については社会学部教務課へお問い合わせください。

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2024 年 5 月 発行

